



第31号 2026年5月 発行  
認定看護師会

くまもと県北病院



認定看護師だより

## 排尿ケアチーム活動再開！



皮膚・排泄ケア認定看護師 日田 さやか

2026年5月より、当院での排尿ケアチーム活動を再開致しました。

### ○排尿ケアチームとは？

排尿に関するの困りごとに対し、多職種スタッフが連携し介入します。排尿という行為は「立ち上がる」「歩く」

「衣類を整える」など多くの生活動作を含むため、身体機能の維持・回復にも効果的です。トイレに行くことがリハビリの一環となり、結果として寝たきりやADL低下の予防にもなります。

排尿ケアチームは「その人らしい生活」を支えることを目標とし、活動を行います。泌尿器科→整形外科→その他の科へと、徐々に介入病棟を増やす予定です。



### ○主な活動の流れ

【外来・病棟看護師】

排尿に関する問題がある患者を抽出する。  
具体的な問題点を見出すため、尿道留置カテーテルを抜去後に排尿日誌をつける。

【排尿ケアチーム】

看護師が記録した、排尿日誌やADL、薬剤などの問題を多職種で検討。患者に合ったケアプランを立案する。問題がなければ介入を終了する。

(ケアプランの内容)  
排尿誘導や残尿測定、トイレに移動するための下肢のリハビリ、排尿に関する薬剤の提案など

【病棟看護師】

排尿ケアチームが作成したケアプランに沿い、排尿ケアを実施。

1週間後、排尿日誌を再度つけ排尿ケアチームに再度介入依頼を行う。

## 症状緩和技術 Series② 疼痛編 医療用麻薬（オピオイド）について

緩和ケア認定看護師 本里 翔

「医療用麻薬」「オピオイド」と聞くと、一般の方には少し構えてしまう、馴染みの薄い言葉かもしれませんが、がんの痛みを和らげるためには欠かすことができない大切な薬です。

今回はその正しい知識と役割について、わかりやすく解説していきます。

	モルヒネ	オキシコドン	フェンタニル	ヒドロモルフォン
剤型	<ul style="list-style-type: none"> <li>経口：液剤</li> <li>注射剤</li> <li>外用：坐剤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経口：錠剤・散剤</li> <li>注射剤</li> <li>外用：無</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経口：無</li> <li>注射剤</li> <li>外用：貼付剤</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>経口：錠剤</li> <li>注射剤</li> <li>外用：無</li> </ul>
副作用	便秘 嘔気・嘔吐 眠気		便秘、嘔気・嘔吐、 眠気など副作用は少ない	便秘 嘔気・嘔吐 眠気
利点	呼吸困難に有効 剤型が豊富	用量調整しやすい 腎機能低下時 比較的安全	貼付剤がある 副作用が少ない	1日1回服用 少量から導入可能
欠点	腎機能低下時は 副作用に注意	肝機能低下時は 副作用に注意	体温上昇で薬剤の 効果が過剰になる ことがある	投与経路の変更に 注意



「医療用麻薬（オピオイド）を使いたくない」と拒否される患者さんやご家族は少なくありません。まずはその不安な気持ちに寄り添い、じっくりお話を聴くことが大切です。

【具体的な対話例】

「麻薬という言葉に怖いイメージがありますよね。麻薬は適切な量であれば依存を起さず、痛みの神経に安全に働くお薬です。痛みは我慢してしまうと体力を消耗してしまいます。まずは今ある痛みを和らげ、ご自身の普段の生活を守るために、上手く味方にしていきましょう」